令和8年度 施策評価シート（令和7年度評価）

令和8年9月30日

10010301

まちづくりの目標	第3章	安心と賑わいのまちづくり（生活・産業部門）	評価責任者	市民生活部長	
基本事項 施策名	第1節	みんなで備える防災・減災の推進	所管部署名	市民生活部危機管理課	
施策の展開	1	(1)危機管理体制の充実	関連部署名		
	2	(2)防災・減災施設等の充実			
	3	(3)地域における減災力の向上			
	4	(4)災害に対する市民意識の向上			
			施策の目的	・災害時でも、市民の生命や財産を守るため、「自助・共助・公助」が最大限に発揮されるまちをめざします。	
関連する個別計画・方針等	吉川市国土強靭化地域計画				
	吉川市地域防災計画				
	国民の保護に関する吉川市計画				

施策成果指標	指標名	単位	設定時の値（年度）	実績値（年度）	目標値（年度）	達成率	最終目標値（年度）
	自主防災組織率	%	88.9	89.7	93.2	96.2	94
			R2	R7	R7	R7	R8
	自主防災会の訓練実施率	%	40.7	29	58	50	60
			R1	R7	R7	R7	R8
	住み心地をよいと感じた理由のうち、災害への備えがよいという回答の割合（市民意識調査）	%	55.7	53.1	58	91.6	60
			R3	R7	R7	R7	R8

施策の評価	評価方法		評価の理由・説明	評価点
	評価軸 ①施策の進捗状況	☐ 順調 ☐ おおむね順調 ☑ やや順調でない ☐ 順調でない	自主防災組織の必要性や訓練実施の重要性について、出前講座や減災プロジェクトなどの訓練を通した周知を行っているが、自主防災組織率、訓練実施率、市民意識調査の各指標について、更なる向上が必要である。	2
	評価軸 ②市民ニーズの反映度	☐ 反映できた ☑ どちらかといえば反映できた ☐ どちらかといえば反映できなかった ☐ 反映できなかった	市民ニーズについては、市民意識調査を通じて、継続的に調査、把握している。引き続き、市民の減災意識の高揚に繋がる各種取組みの着実な実施に努めていく。	3
	評価軸 ③施策に対する事務事業の構成	☑ 妥当であった ☐ どちらかといえば妥当であった ☐ どちらかといえば妥当でなかった ☐ 妥当でなかった	平時から減災に関する様々な取り組みを行うことは、災害が発生した際に、市民の生命や財産を守るという施策の目的を達成するために必要となる事務事業であり妥当である。 ※構成する事務事業については裏面に記載	4

施策に関する現状と課題	総合評価
自主防災組織は地域により設立の有無に偏りがあるため、地域差の解消を図ることが必要である。 また、自主防災組織が設立されている地域においても自主防災組織が実施する訓練への参加者が集まりにくいことや、参加メンバーが固定化しているといった課題がある。引き続き、課題解決のため出前講座や講習会、減災プロジェクトなどあらゆる機会を捉えて、自助・共助の必要性を周知していくとともに、自主防災組織の組織率の向上、防災訓練参加者の増加を図っていく。	B：施策の目的が概ね達成されている

今後の展開	
	地域の出前講座や講習会など、あらゆる機会を捉えて、自主防災組織の必要性や役割を周知し、新たな自主防災組織の設立を積極的に働きかけていく。また、自助、共助の必要性を周知することで、防災意識の向上を図っていく。

10010301

構成する事務事業

	事務事業番号	事務事業名	成果指標				事業の方向性（今後の方針）
			成果指標名	単位	R7目標値	R7実績値	
1	01000268	減災対策事業	市公式アプリの利用者数	数	3,500	3,705	現状のまま継続
2	01000269	防災無線整備事業	正常に動作している防災行政無線屋外拡声子局の数	基	73	73	現状のまま継続
3	01000271	水防体制充実事業	訓練による習熟度	%	100	100	現状のまま継続
4	01000756	国民保護等危機対策事業	J-ALERTの動作異常回数	回	0	0	現状のまま継続
5	01000849	水防センター等整備事業	地元への説明会開催回数	回	1	1	現状のまま継続
6	01000270	防災組織支援育成事業	自主防災組織率	%	94	89.7	現状のまま継続

令和8年度 施策評価シート（令和7年度評価）

令和8年9月30日

10010302

まちづくりの目標	第3章	安心と賑わいのまちづくり（生活・産業部門）	評価責任者	市民生活部長	
基本事項 施策名	第2節	みんなで守る防犯と交通安全の推進	所管部署名	市民生活部危機管理課	
施策の展開	1	(1)防犯体制の充実	関連部署名	都市建設部道路課	
	2	(2)交通安全意識の高揚			
	3	(3)道路交通環境の整備			
関連する個別計画・方針等	吉川市安全安心都市宣言		施策の目的	・誰もが安心して暮らせる犯罪のない社会をめざします。 ・交通事故のない安全なまちをめざします。	
	第4次吉川市防犯推進計画				
	第11次吉川市交通安全計画				
	吉川市道路舗装修繕計画				

施策成果指標

指標名	単位	設定時の値（年度）	実績値（年度）	目標値（年度）	達成率	最終目標値（年度）
人口千人当たりの市内で発生した犯罪認知件数	件	6.55	7.82	5.74	73.4	5.57
		R2	R7	R7	R7	R8
人口千人当たりの交通事故（人身事故）発生件数	件	2.48	2.79	2.31	82.8	2.3
		R1	R7	R7	R7	R8

施策の評価

評価方法		評価の理由・説明	評価点
評価軸 ①施策の進捗状況	☐ 順調 ☐ おおむね順調 ☑ やや順調でない ☐ 順調でない	犯罪認知件数及び人身事故件数共に増加傾向にあり、目標値を達成できていない。	2
評価軸 ②市民ニーズの反映度	☑ 反映できた ☐ どちらかといえば反映できた ☐ どちらかといえば反映できなかった ☐ 反映できなかった	どちらの指標にあっても現状や法改正などについて機会を捉え、市民への周知や情報配信を実施してきた。 また、道路の修繕や防犯灯の設置などの要望についても対応している。	4
評価軸 ③施策に対する事務事業の構成	☑ 妥当であった ☐ どちらかといえば妥当であった ☐ どちらかといえば妥当でなかった ☐ 妥当でなかった	防犯や交通安全に関する啓発や関係団体の支援、道路施設の維持管理など、安全で安心なまちを目指す上で必要な取組を進める事務事業で構成されているため妥当である。 ※構成する事務事業については裏面に記載	4

施策に関する現状と課題	総合評価
高齢化などの進展により防犯活動団体が減少傾向にある一方で、特殊詐欺や刑法犯などの犯罪件数が増加している。 交通事故の発生件数が増加傾向にあり、また、高齢者の交通事故が多い状況である。 また、自転車利用者のヘルメット着用が努力義務となったが着用率は低い状況である。	A：施策の目的が達成されている

今後の展開
登録制メール等を通じて防犯意識の高揚を図る。 犯罪抑止のため、防犯活動団体への支援を通じて、防犯活動を推進する。 街頭キャンペーンや交通安全教室、SNSや市広報紙などにより、交通安全に対する啓発活動を実施する。

10010302

構成する事務事業

	事務事業番号	事務事業名	成果指標				事業の方向性（今後の方針）
			成果指標名	単位	R7目標値	R7実績値	
1	01000177	防犯事業	刑法犯認知件数	件	470	564	現状のまま継続
2	01000179	防犯灯整備事業	刑法犯認知件数	件	470	564	現状のまま継続
3	01000182	交通安全運動推進事業	人身事故件数	件	150	201	現状のまま継続
4	01000184	自転車対策推進事業	放置自転車の撤去台数	台	200	113	現状のまま継続
5	01000696	交通安全施設整備事業	交通事故数	件	150	201	改善の上で継続

令和8年度 施策評価シート（令和7年度評価）

令和8年9月30日

10010303

まちづくりの目標		第3章	安心と賑わいのまちづくり（生活・産業部門）	評価責任者	市民生活部長
基本事項	施策名	第3節	安心して暮らせる消防・救急体制の強化	所管部署名	市民生活部危機管理課
	施策の展開	1	(1)消防組織体制の充実	関連部署名	
		2	(2)防火対策の推進		
		3	(3)救急・救助体制の充実		
				施策の目的	・充実した消防・救急体制の下、市民が安心して生活できるまちをめざします。 ・市民の意識の向上と地域の連帯により、火災のないまちをめざします。
	関連する個別計画・方針等	吉川松伏消防組合消防計画			
		吉川松伏消防組合実施計画			
		吉川松伏消防組合公共施設等総合管理計画			

施策成果指標	指標名	単位	設定時の値（年度）	実績値（年度）	目標値（年度）	達成率	最終目標値（年度）
	火災による年間死傷者数（自損行為を除く）	人	0	1	0	0	0
			R2	R7	R7	R7	R8
	防火対象物等の査察による違反是正率	%	58	70	70	100	70
			R2	R7	R7	R7	R8
	救急車の現場到着所要時間	分	7.7	8.1	7	86.4	7
			R2	R7	R7	R7	R8

施策の評価	評価方法		評価の理由・説明	評価点
	評価軸 ①施策の進捗状況	☐ 順調 ☑ おおむね順調 ☐ やや順調でない ☐ 順調でない	火災による年間死者数については、1件発生し目標を達成できなかった。また、防火対象物等の査察による違反是正については、目標を達成したが、救急車の現場到着所要時間については、救急出動件数の増加に伴い、救急隊出動時間が増加傾向となっていることから目標を達成できなかった。	3
	評価軸 ②市民ニーズの反映度	☐ 反映できた ☑ どちらかといえば反映できた ☐ どちらかといえば反映できなかった ☐ 反映できなかった	火災の無いまちを目指すこと、救急体制の強化を図ることは、誰もが安心して暮らせるまちの実現を図るものであり、市民ニーズを的確に反映している。	3
	評価軸 ③施策に対する事務事業の構成	☑ 妥当であった ☐ どちらかといえば妥当であった ☐ どちらかといえば妥当でなかった ☐ 妥当でなかった	市民が安心して生活できるまちの実現に向け、効果的な事務事業で構成されており、妥当である。 ※構成する事務事業については裏面に記載	4

施策に関する現状と課題	総合評価
防火対象物等の違反是正率は、高く推移しているが、是正に長い時間を要する対象物もあることから、効果的な違反是正方法や先進団体の取り組み等について研究を行う必要がある。また、緊急性の低い救急要請が全国的に問題となっている。	A：施策の目的が達成されている

今後の展開
市民が、より安心して生活できるまちをつくるために防火対象物等の違反是正率をさらに高めるよう努める。また、令和8年4月の東埼玉消防指令センター運用開始に伴い、プレアライバルコールを前提とした119番通報受信が標準化となり、入電から出動までの時間短縮が期待でき、救急車の現場到着時間の短縮に繋がると考えている。なお、救急車の適正利用に向けた普及啓発活動を継続して行い、緊急性の低い救急要請の抑制に向けた取組を図る。

10010303

構成する事務事業

	事務事業番号	事務事業名	成果指標				事業の方向性（今後の方針）
			成果指標名	単位	R7目標値	R7実績値	
1	01000264	吉川松伏消防組合負担事業	火災発生件数	件	20	25	現状のまま継続
2	01000265	消防団運営負担事業	公務災害の人数	人	0	0	現状のまま継続
3	01000266	消防施設等維持管理事業	火災発生件数	件	20	25	現状のまま継続

令和8年度 施策評価シート（令和7年度評価）

令和8年9月30日

10010304

まちづくりの目標	第3章 安心と賑わいのまちづくり（生活・産業部門）	評価責任者	産業振興部長
基本事項 施策名	第4節 消費者の安全・安心の確保	所管部署名	産業振興部商工課
施策の展開	1 (1)消費者被害の防止 2 (2)消費者団体の活動支援	関連部署名	
関連する個別計画・方針等		施策の目的	・消費者の安全・安心な暮らしの確保をめざします。 ・消費者団体の活動等を通して、消費者トラブルに巻き込まれない自立した消費者が増えることをめざします。

施策成果指標	指標名	単位	設定時の値（年度）	実績値（年度）	目標値（年度）	達成率	最終目標値（年度）
	消費生活センターの相談に対して解決した件数の割合	%	99.2 R2	100 R7	100 R7	100 R7	100 R8

施策の評価	評価方法		評価の理由・説明	評価点
	評価軸 ①施策の進捗状況	☑ 順調 ☐ おおむね順調 ☐ やや順調でない ☐ 順調でない	多様な相談に対し解決に向けて助言や斡旋を行っており、順調である。	4
	評価軸 ②市民ニーズの反映度	☑ 反映できた ☐ どちらかといえば反映できた ☐ どちらかといえば反映できなかった ☐ 反映できなかった	・相談に対し助言や斡旋を行い完結しており、個々のニーズに対応している。 ・来所以外に電話による相談に対応している。 ・市民ニーズに応じた出前講座を実施することで啓発と被害の未然防止に努めている。	4
	評価軸 ③施策に対する事務事業の構成	☑ 妥当であった ☐ どちらかといえば妥当であった ☐ どちらかといえば妥当でなかった ☐ 妥当でなかった	施策の目的達成に向けた事務事業の構成は妥当であり、事務事業の取組みが展開されることで施策の推進に繋がる十分な内容である。 ※構成する事務事業については裏面に記載	4

施策の評価	施策に関する現状と課題	総合評価
	・相談内容は多岐にわたり、悪質商法や詐欺の手口が複雑・巧妙化していることから、消費者被害は依然として多い。 ・消費者相談や情報提供の機会を維持し、消費者と事業者との間に生じる商品や法律等に関する専門知識の差を補完することで消費者の自立を支援していく必要がある。	A：施策の目的が達成されている

今後の展開	
	・第6次吉川市総合振興計画を推進するため、社会情勢等の変化に応じた施策展開を図る。 ・様々な媒体を通じた情報周知や相談機会の充実を図り、消費者被害の防止に努める。

10010304

構成する事務事業

	事務事業番号	事務事業名	成果指標				事業の方向性（今後の方針）
			成果指標名	単位	R7目標値	R7実績値	
1	01000229	消費者相談事業	完結度	%	100	100	現状のまま継続
2	01000230	消費者教育啓発事業	市内における消費者被害の発生件数	件	15	12	現状のまま継続
3	99000040	商品表示適正化事務事業	違反件数	点	0	0	現状のまま継続
4	01000527	消費者活動支援事業	会員数	人	100	83	現状のまま継続

令和8年度 施策評価シート（令和7年度評価）

令和8年9月30日

10010305

まちづくりの目標	第3章 安心と賑わいのまちづくり（生活・産業部門）	評価責任者	産業振興部長
基本事項 施策名	第5節 魅力ある農業の振興	所管部署名	産業振興部農政課
施策の展開	1 (1)農業経営の活性化 2 (2)農業・農産物のPR 3 (3)農業拠点施設整備の推進 4 (4)生産基盤の整備	関連部署名	産業振興部商工課 行政委員会農業委員会
関連する個別計画・方針等	吉川市産業振興計画 吉川市農業振興地域整備計画 実質化された人・農地プラン（旭地区・吉川地区・三輪野江地区）	施策の目的	・安定かつ持続可能な農業経営のもと、消費者に安全安心な吉川産農産物が安定供給されることをめざします。 ・農業生産基盤を整備することにより、生産効率の高い農業が行われることをめざします。 ・農業に親しむ機会等が増えることにより、市民の農業に対する関心が高まることをめざします。

施策成果指標

指標名	単位	設定時の値（年度）	実績値（年度）	目標値（年度）	達成率	最終目標値（年度）
農業担い手による農地利用の集積・集約面積（農用地利用権設定面積）	ha	111.2 R2	0 R7	0 R7	0 R7	130 R8
吉川産の農産物を購入している市民の割合（市民意識調査）	%	57.1 R3	57.2 R7	59.5 R7	96.1 R7	60 R8

施策の評価

評価方法		評価の理由・説明	評価点
評価軸 ①施策の進捗状況	☐ 順調 ☑ おおむね順調 ☐ やや順調でない ☐ 順調でない	・農用地利用権設定面積については、国策により、令和6年度をもって制度が廃止となり、新たに農地中間管理事業による集積・集約がスタートしている。（R7実績：9.21ha） ・吉川産農産物購入の割合については、イベント等による周知が一定以上反映されていると考える。	3
評価軸 ②市民ニーズの反映度	☑ 反映できた ☐ どちらかといえば反映できた ☐ どちらかといえば反映できなかった ☐ 反映できなかった	・全体的に概ね周知が図られていると考える。	4
評価軸 ③施策に対する事務事業の構成	☑ 妥当であった ☐ どちらかといえば妥当であった ☐ どちらかといえば妥当でなかった ☐ 妥当でなかった	・施策の目的を達成するに十分な内容である。ただし、農用地利用権設定については、制度廃止に伴う新たな指標の検討が必要である。 ※構成する事務事業については裏面に記載	4

施策に関する現状と課題	総合評価
・農地は個人の資産であるため、市が必要以上に介入することが難しい部分であるが、農業者の高齢化と減少により、農地を適切に維持することが難しくなっている。そのため、農地の効率的な利用集積・集約化が求められる。 ・全国的に食の安全や地産地消の機運が高まっており、引き続き、多様化する市民ニーズに柔軟に対応していく必要がある。	A：施策の目的が達成されている

今後の展開

・第6次吉川市総合振興計画を計画的に推進するため、社会情勢等の変化に応じ実施計画の見直しを適宜行っていく。
・市民ニーズの多様化に応じ、イベント等の見直しを徹底し必要な周知の機会の確保に努める。
・国の制度変更により、農地の集積・集約化に関する方針等が根本的に変わったため、地権者及び耕作者に対する周知を徹底し、適切な手続きを行う。

10010305

構成する事務事業

	事務事業番号	事務事業名	成果指標				事業の方向性（今後の方針）
			成果指標名	単位	R7目標値	R7実績値	
1	01000199	農業委員会運営事業	利用集積率	%	31.2	28.5	現状のまま継続
2	01000203	水田農業振興事業	水田農業活性化対策実施面積	㎡	11,360	11,360	現状のまま継続
3	01000205	後継者団体活動補助事業	農業後継者団体新規加入者	人	1	0	改善の上で継続
4	01000206	認定農業者育成事業	認定農業者及び認定新規就農者数	人	100	106	現状のまま継続
5	01000207	農業団体支援事業	会員の総数	人	80	70	現状のまま継続
6	01000208	家畜伝染病防除対策事業	家畜伝染病発生件数	件	0	0	現状のまま継続
7	01000209	農事組合振興事業	農事組合加入世帯	世帯	1,140	1,105	改善の上で継続
8	01000654	新規就農総合支援事業	新規就農相談件数	件	10	19	現状のまま継続
9	01000861	農業者緊急支援事業	価格高騰等の影響を受ける市内で農業を営む販売農家への支援金交付件数	件			改善の上で継続
10	01000586	農業近代化資金利子補給事業	利子補給制度利用借入総件数	件	13	9	現状のまま継続
11	01000589	市民まつり農業まつり事業	農業まつりに参加した団体数	団体	6	6	改善の上で継続
12	01000444	吉川産農産物PR事業	イベント参加者満足度	%	90	95.2	改善の上で継続
13	01000618	安全安心農産物事業	食品表示法適正化対応件数	件	0	2	現状のまま継続
14	01000216	市民農園管理運営事業	市民農園等の利用可能区画数	区画	280	282	現状のまま継続
15	01000769	次世代農業推進事業	参入希望事業者及び参入事業者とのヒアリング回数	回	10	10	改善の上で継続
16	01000210	用排水路整備事業	水路整備率	%	100	53	現状のまま継続
17	01000211	用排水路維持管理事業	用排水路の補修要望処理率	%	90	73.03	現状のまま継続
18	01000213	土地改良施設維持事業	事業実施率	%	100	100	現状のまま継続
19	01000438	土地改良施設維持管理適正化事業	整備実施率	%	100	100	現状のまま継続
20	01000541	農地パトロール事業	遊休農地面積	ha	6	16	現状のまま継続
21	01000577	埼玉型ほ場整備事業	協議会	組織数	2	1	現状のまま継続
22	01000588	農業振興地域整備事業	申請から認可までに要する月数	月	15	14	現状のまま継続
23	01000612	農業・農村多面的機能維持管理事業	活動組織継続率	%	100	100	現状のまま継続
24	01000689	農地集積促進事業	農地中間管理事業設定件数	件	5	41	改善の上で継続

令和8年度 施策評価シート（令和7年度評価）

令和8年9月30日

10010306

まちづくりの目標	第3章	安心と賑わいのまちづくり（生活・産業部門）	評価責任者	産業振興部長	
基本事項	施策名	第6節 賑わいある商業の振興	所管部署名	産業振興部商工課	
	施策の展開	1 (1)経営の安定化	関連部署名		
		2 (2)消費拡大・販路拡大につながる情報発信			
			施策の目的	市内商業が持続可能な経営の下で発展するとともに、創業が生まれやすい魅力ある環境をめざします。	
	関連する個別計画・方針等	吉川市産業振興計画			

施策成果指標	指標名	単位	設定時の値（年度）	実績値（年度）	目標値（年度）	達成率	最終目標値（年度）
	商店数	店	320	403	330	122.1	330
			H28	R7	R7	R7	R6
	市内の商店を利用する市民の割合（市民意識調査）	%	79.9	72.8	84	86.7	85
			R3	R7	R7	R7	R8

施策の評価	評価方法		評価の理由・説明	評価点
	評価軸 ①施策の進捗状況	☑ 順調 ☐ おおむね順調 ☐ やや順調でない ☐ 順調でない	経済センサス活動調査による商店数（卸・小売業）は、機械器具等の販売事業者が増加傾向である。市民意識調査による市内商店を利用する割合については、やや減少傾向となっている。	4
	評価軸 ②市民ニーズの反映度	☑ 反映できた ☐ どちらかといえば反映できた ☐ どちらかといえば反映できなかった ☐ 反映できなかった	市民意識調査の回答によると、市内商店を利用する（したい）と思うために必要と考えるものは、品揃えや値段、駐車場を課題としている声が多いことから、商業団体等を通じて、引き続き情報提供に努める必要がある。	4
	評価軸 ③施策に対する事務事業の構成	☑ 妥当であった ☐ どちらかといえば妥当であった ☐ どちらかといえば妥当でなかった ☐ 妥当でなかった	施策の目的の達成に向け事務事業の構成は妥当であり、事務事業の取組みが展開されることで施策の推進に繋がる十分な内容である。 ※構成する事務事業については裏面に記載	4

施策に関する現状と課題	総合評価
・商業団体への聞き取りによると、インターネットショッピング需要の増加や消費者ニーズの多様化、近隣の大型商業施設の進出等により、苦しい状況が続いている。 ・市民意識調査によると、市内商店を利用する割合はやや減少傾向となっている。 ・経済センサス活動調査によると、商店数（卸・小売業）は、建築材料、鉱物・金属材料、機械器具等の販売事業者数が増加しており、全体としては増加傾向となっている。	A：施策の目的が達成されている

今後の展開
・市内事業者間が連携し、物販やプロモーション活動を行うイベントを適宜開催することで各店舗の魅力向上を図っており、引き続き、イベント開催の周知等を通じて支援する。 ・今後も産業振興事業費補助金による支援を通じて、地域経済活性化に引き続き取り組んでいく。

10010306

構成する事務事業

	事務事業番号	事務事業名	成果指標				事業の方向性（今後の方針）
			成果指標名	単位	R7目標値	R7実績値	
1	01000220	商業活性化推進事業	対象団体会員数	団体	45	39	改善の上で継続
2	01000224	経営改善推進事業	商工会事業費補助金の交付	円	9,282,000	9,282,000	現状のまま継続
4	01000947	物価高騰対策商品券発行事業	物価高騰対策商品券換金金額	円	0	0	現状のまま継続
5	01000721	ふるさと納税推進事業	寄附金額	円	69,000,000	34,121,000	改善の上で継続

令和8年度 施策評価シート（令和7年度評価）

令和8年9月30日

10010307

まちづくりの目標	第3章 安心と賑わいのまちづくり（生活・産業部門）	評価責任者	産業振興部長
基本事項 施策名	第7節 活力ある工業の振興	所管部署名	産業振興部商工課
施策の展開	1 (1)経営の安定化 2 (2)工業地整備の推進 3 (3)企業の立地推進	関連部署名	企業誘致担当
関連する個別計画・方針等	吉川市産業振興計画	施策の目的	・経営の安定・持続と新たな創業の増加をめざします。 ・市内への立地を希望する企業の増加をめざします。

施策成果指標	指標名	単位	設定時の値（年度）	実績値（年度）	目標値（年度）	達成率	最終目標値（年度）
	工業事業所数	事業所	181	380	218	174.3	223
			R2	R7	R7	R7	R8

施策の評価	評価方法		評価の理由・説明	評価点
	評価軸 ①施策の進捗状況	☑ 順調 ☐ おおむね順調 ☐ やや順調でない ☐ 順調でない	経済センサス活動調査によると、市内工業事業者数（製造業）は家具・装備品製造業の事業者数が増加傾向である。	4
	評価軸 ②市民ニーズの反映度	☑ 反映できた ☐ どちらかといえば反映できた ☐ どちらかといえば反映できなかった ☐ 反映できなかった	各事業者へのアンケート調査や聞き取りを通じて求める支援策を検討し、状況に応じた様々な支援を行ったことにより、各事業者の一助になったものと考えている。	4
	評価軸 ③施策に対する事務事業の構成	☑ 妥当であった ☐ どちらかといえば妥当であった ☐ どちらかといえば妥当でなかった ☐ 妥当でなかった	施策の目的の達成に向け事務事業の構成は妥当であり、事務事業の取組みが展開されることで施策の推進に繋がる十分な内容である。 ※構成する事務事業については裏面に記載	4

施策に関する現状と課題	総合評価
・市内製造業事業者は、大手メーカーの下請け企業として、各製品の重要な部品を製造している。 ・昨今の原油価格や物価高騰により、多くの事業者が資器材高騰などの影響を受けている。 ・都心へのアクセスの良さなどから、市内の立地を希望する事業者はいるが、希望に沿う工業用地が不足している状況である。	A：施策の目的が達成されている

今後の展開
・産業フェア等のイベントを通して、自社の魅力を発信し、挑戦する事業者を支援し、新たな事業の展開や連携に繋げていく。 ・産業振興事業費補助金を通じて、創業、販路拡大、新商品製作、人材確保、事業者連携などを継続して支援する。 ・工業用地の確保については、引き続き、埼玉県や他部署等の関係機関と連携し、情報共有を図る。

10010307

構成する事務事業

	事務事業番号	事務事業名	成果指標				事業の方向性（今後の方針）
			成果指標名	単位	R7目標値	R7実績値	
1	01000221	工業団体支援事業	吉川工専工業会の会員数	事業所	75	73	現状のまま継続
2	01000647	住宅改修費補助事業	住宅改修費補助対象工事費（税抜）の総額	円	59,000,000	56,538,303	現状のまま継続
3	99000041	市内企業等の拡張支援事業	企業誘致関連情報収集活動記録の作成率	%	100	100	現状のまま継続

令和8年度 施策評価シート（令和7年度評価）

令和8年9月30日

10010308

まちづくりの目標	第3章	安心と賑わいのまちづくり（生活・産業部門）	評価責任者	産業振興部長
基本事項 施策名	第8節	誰もが働きやすい環境づくり	所管部署名	産業振興部商工課
施策の展開	1	(1)就労機会の拡大	関連部署名	
	2	(2)勤労者福利厚生の充実		
関連する個別計画・方針等	吉川市産業振興計画		施策の目的	・就労機会の拡大と雇用の安定をめざします。 ・多様な勤労者が働きやすい労働環境の充実をめざします。

施策成果指標	指標名	単位	設定時の値（年度）	実績値（年度）	目標値（年度）	達成率	最終目標値（年度）
	市内求人情報誌掲載企業数	件	298	309	300	103	300
			R2	R7	R7	R7	R8
	多様な働き方実践企業認定件数	社	34	41	48	85.4	50
			R2	R7	R7	R7	R8

施策の評価	評価方法		評価の理由・説明	評価点
	評価軸 ①施策の進捗状況	☐ 順調 ☑ おおむね順調 ☐ やや順調でない ☐ 順調でない	・成果指標については、企業の求人有無に影響されるが、求人の情報量は十分保っている。 ・多様な働き方実践企業は、認定有効期間の更新をしない企業があったため、減少した。	3
	評価軸 ②市民ニーズの反映度	☑ 反映できた ☐ どちらかといえば反映できた ☐ どちらかといえば反映できなかった ☐ 反映できなかった	・就職説明会や就職活動セミナー、就職活動相談におけるアンケートでは事業に対し高評価を得ている。 ・求人情報誌配架後の残数から、就労に関する市民ニーズに応えられている。	4
	評価軸 ③施策に対する事務事業の構成	☑ 妥当であった ☐ どちらかといえば妥当であった ☐ どちらかといえば妥当でなかった ☐ 妥当でなかった	施策の目的の達成に向け事務事業の構成は妥当であり、事務事業の取組みが展開されることで施策の推進に繋がる十分な内容である。 ※構成する事務事業については裏面に記載	4

施策に関する現状と課題	総合評価
・人材確保が困難な状況にある一方、求職者が高い水準にある。 ・ライフステージや希望に応じた多様な働き方が求められている。 ・雇用問題はハローワークが主な役割を担っているが、市内事業所の雇用安定や市民の就労支援として、市でも雇用情報の提供、就活相談、就職説明会等による求人・求職者のマッチングの機会を提供することが求められている。	A：施策の目的が達成されている

今後の展開
・第6次吉川市総合振興計画を推進するため、社会情勢等の変化に応じた施策展開を図る。 ・ニーズの多様化に応じ、情報周知やイベントの見直しを行い、就労機会の確保に努める。

10010308

構成する事務事業

	事務事業番号	事務事業名	成果指標				事業の方向性（今後の方針）
			成果指標名	単位	R7目標値	R7実績値	
1	01000226	雇用対策推進事業	就職相談利用者数	人	50	29	改善の上で継続
2	01000227	勤労者住宅資金貸付事業	新規融資実行件数	件	1	0	現状のまま継続
3	01000526	勤労者表彰事業	受賞者数	人	15	13	現状のまま継続

令和8年度 施策評価シート（令和7年度評価）

令和8年9月30日

10010309

まちづくりの目標	第3章	安心と賑わいのまちづくり（生活・産業部門）	評価責任者	政策室長	
基本事項	施策名	第9節 シティプロモーションの推進	所管部署名	政策室	
	施策の展開	1 (1)魅力の再確認と発掘	関連部署名	産業振興部農政課	
		2 (2)新たな魅力の創出		産業振興部商工課	
		3 (3)観光事業の充実			
		4 (4)戦略的なシティプロモーション活動の推進			
			施策の目的	・本市への愛着心が向上するとともに、本市の認知度が向上することで、まちの活力が維持され、安定的かつ持続的に発展することをめざします。	
	関連する個別計画・方針等	吉川市シティプロモーション戦略プラン			
		吉川市まち・ひと・しごと創生総合戦略（第2期第1版）			
		吉川市産業振興計画			

施策成果指標	指標名	単位	設定時の値（年度）	実績値（年度）	目標値（年度）	達成率	最終目標値（年度）
	人口	人	73,217	72,100	75,375	95.7	75,757
			R3.4.1	R7	R7	R7	R9.4.1
	市への愛着度（市民意識調査）	%	76.8	78.1	79	98.9	80
			R3	R7	R7	R7	R8

施策の評価	評価方法		評価の理由・説明	評価点
	評価軸 ①施策の進捗状況	☐ 順調 ☑ おおむね順調 ☐ やや順調でない ☐ 順調でない	人口については、一時的に減少傾向にあるものの吉川美南駅東口周辺地区の開発に伴い人口増が想定されている。そのような中で、市への愛着度は目標値に近い数値となっており、施策の進捗状況としてはおおむね順調である。	3
	評価軸 ②市民ニーズの反映度	☐ 反映できた ☑ どちらかといえば反映できた ☐ どちらかといえば反映できなかった ☐ 反映できなかった	市への愛着度や認知度に対する意識の把握のため市民意識調査において継続的な調査を行っており、その調査結果などをもって庁内連絡会議を開き、「シティプロモーション戦略プラン」の進捗状況の検証を行った。	3
	評価軸 ③施策に対する事務事業の構成	☑ 妥当であった ☐ どちらかといえば妥当であった ☐ どちらかといえば妥当でなかった ☐ 妥当でなかった	本施策では「愛着心の向上」「認知度の向上」に向け、市の様々な事業を「シティプロモーション戦略プラン」において位置づけており妥当である。 ※構成する事務事業については裏面に記載	4

施策に関する現状と課題	総合評価
・吉川市の「魅力」は地勢や市民意識調査などを踏まえると「住みよさ」が挙げられる。そうしたことから具体的な取組を内容とする戦略プランを策定し、愛着心と認知度の向上を重点テーマにシティプロモーションに取り組んでいる。 ・吉川市では全国的に注目される観光的な資源や大規模商業施設など、他の自治体との比較の中で突出したものがない状況である。そうした中で幸福度や愛着心を高めるため、さらに効果的な情報発信などの取り組みが必要となる。	A：施策の目的が達成されている

今後の展開
・第6次総合振興計画後期基本計画が策定されるため、シティプロモーション基本方針と、指標を令和8年度までとしているシティプロモーション戦略プランの見直しを令和8年度中に行い、引き続き市内外へ戦略的な情報発信等を行っていく。

10010309

構成する事務事業

	事務事業番号	事務事業名	成果指標				事業の方向性（今後の方針）
			成果指標名	単位	R7目標値	R7実績値	
1	01000225	観光団体支援事業	よしかわ観光協会会員数	人	140	129	現状のまま継続
2	01000631	シティプロモーション推進事業	市民の幸福感	%	90	90.4	現状のまま継続